

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～





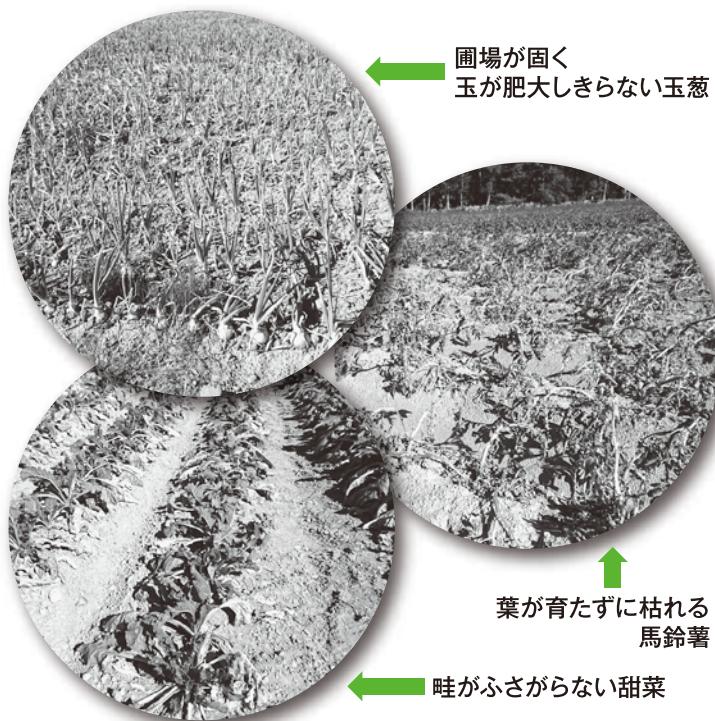
観測史上最悪の干ばつ、農作物に深刻な影響

春の植付け作業は、5月の天候不順で遅れ気味に推移しましたが、6月に入ると一転して雨がほとんど降らない状況となりました。

6～7月の降水量は、平年の10%を下回っており、常呂町の観測地点としては、6月と7月はそれぞれ観測史上1位と2位の少なさを記録。6月は2日間、7月は1日しか降雨がなく、特に7月5日の降雨以降28日間も無降雨期間が続きました。

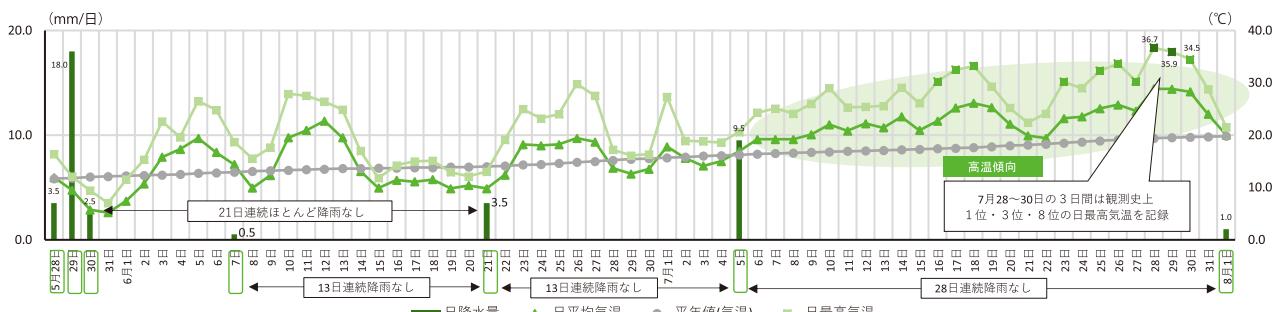
また、7月下旬の日最高気温は猛暑日と真夏日の日が続き、7月期における観測史上1位を記録するなど、異常な高温干ばつとなりました。

この影響で、玉葱は7月上旬頃から葉先が枯れはじめ、早いところで7月中旬から倒伏、馬鈴薯も無降雨で肥大が進まず、7月下旬の高温で黄変が進みました。甜菜も無降雨により畠がふさがらず、7月下旬の高温により下葉から黄変するなど、深刻な影響を受けました。



月	降水量(mm)				日照時間(h)		
	月実績	平年値	平年対比	観測史上	月実績	平年値	平年対比
(参考)5月	81.0	56	144.6%	9位の多さ	124	185	67%
6月	4.0	65	6.2%	1位の少なさ	232	170	136%
7月	9.5	91	10.4%	2位の少なさ	294	166	177%
6-7月合計	13.5	156	8.7%		526	336	157%

降水量と日照時間の平年対比を示した表



5月28日から8月1日までの降水量と気温を示したグラフ



衆議院議員・道議会議員・道農政部長らが現地視察



強烈に変形した玉葱を目の当たりにする宮田部長(中)



干ばつで黄変した甜菜を見る鈴木道議(右)ら



草丈が低いデントコーンの状況説明を受ける北見市道議団

こうした異常干ばつにより農作物に深刻な影響を受けたことから、7月30日に船橋賢二、高橋文明両道議会議員、宮田大北海道農政部長、小野寺俊幸JA北海道中央会会長ら11人が、8月14日には武部新衆議院議員、19日には、鈴木一磨道議会議員ら7人、23日には安藤憲彦北見市議会議員を含む北見市産業常任委員会5人が本町に駆け付け、現地で視察を行いました。

草丈が例年の半分しかないデントコーンや、硬い圃場で強烈に変形した玉葱、下葉が枯れ、畦がふさがらないてん菜の状況を目の当たりにし、視察を行った武部議員らは「これはひどい」と感想を述べました。

当JAの川上和則組合長は「主力の馬鈴薯や玉葱がひどく、年末のクミカン収支が厳しい。資金繰りや自給飼料などの対策をお願いしたい」と訴えました。

8月に入ってようやくまとまった降雨があり、甜菜や牧草に緑が戻ってきました。今後の回復に期待します。



実が細いデントコーンを見る武部衆議院議員(左)



今後の対策について宮田農政部長(手前から2人)らと意見交換

豊穣の秋に向け収穫開始!!

7月中旬から8月に入り、本町の基幹作物である玉葱、小麦、にんにくの収穫が本格化しました。今後も馬鈴薯や南瓜、小豆などの作物の収穫や小麦の適期播種に向けて忙しい毎日が続きますが、家族皆で声を掛け合い農作業事故、交通事故防止に努めていきましょう。

玉葱



守屋徹さん圃場(富丘)



中島裕之さん圃場(共立)

にんにく



(株)まがわ圃場(日吉)



(株)羽石農場圃場(共立)

小麦



遠藤圭一郎さん圃場(日吉)



藤澤伸光さん圃場(岐阜)

選果作業は来年の4月中旬頃まで続けられ、全国各地の市場などを通じ消費者の食卓に届けられます。



1つ1つ、丁寧に選果されています



選果された玉葱

玉葱選別工場操業開始

令和3年産計玉葱の選果作業が玉葱選果施設で始まりました。8月5日から極早生種の盆前販売のために一部操業を開始、17日から本操業となりました。



(上)受け入れを待つ生産者の列
(右)サンプルの検査を行う中村係長

JIAとこれは7月29日より、小麦乾燥調製貯蔵施設で令和3年産の小麦の受入を開始しました。受け入れた小麦は、一部をサンプルとして採取し、タンパク質・水分を測定した後、検査員による検査が行われます。検査を行った中村克俊係長からは、「ゆめちからは上々の出来。きたほなみはゆめちから」と比べるじまあまざといふ「」と話しました。

麦乾工場で小麦の受け入れ



(上)積み降ろしを行う小山職員
(下)にんにくを出荷する高橋知里さん(左)

8月5日より、青果事務所でホワイト種にんにくの受入が開始しました。ホワイト種のにんにくは製薬会社との契約であり隨時出荷していきます。また、ヒューリンクにんにくは8月20日より受入が開始しました。8月24日より規格選別を始め、随時市場へ出荷・青果事務所等で販売します。青果事務所での販売は9月1日より開始されました。

にんにくの受入開始

「と、JRハイパークにんにく」 体験を通して学ぶ

常呂町にんにく耕作者部会
(山内英之部会長)は8月18
日と23日の2日間、常呂中学
校2年生を対象とした体験学
習会を行いました。

1日目は、同校で山内部会
長と当社の早坂駿兵職員
が「本町の農業について」と、
にんにくの播種から収穫の
流れについての説明を行
いました。

2日目は生徒が各班に分か
れ、部会員宅でにんにくの種
割作業などを体験しました。



●常呂中学校で授業を行う
山内部会長(左)と早坂職員



●中学生からの質問に答える羽石さん



●にんにくの規格などについて説明をする高田職員

8月11日、にんにく耕作者
部会は株しまがわのハウス内
でにんにくの目慣らし会を実
施しました。この目慣らし会
では、にんにくの規格や出荷
基準、乾燥方法などの確認を
行いました。

実施に際し、山内部会長は
「今回の目慣らし会に準じて、
より良い品質のにんにくを出
荷し、事故などに気をつけ作
業していきましょう」と話す
ました。

にんにく 目慣らし会

共同給油所 セルフ改装記念キャンペーン

常呂町農協漁協共同給油所(山田貢所長)は8月5日から6日の2日間、「セルフ改装記念キ
ャンペーン」を行い、大勢の方が利用しました。

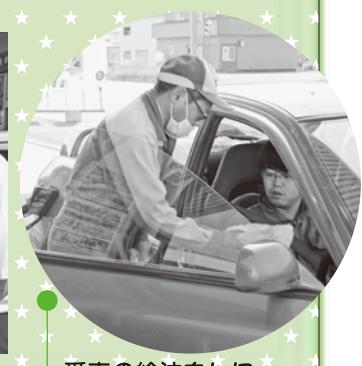
同キャンペーンでは、ガソリンと軽油が対象燃料となっており、通常より価格が下がるほか、
店頭給油20ℓ以上で「北海道産ゆめぴりか(パックご飯)3個セット」をプレゼントされました。
両日とも朝からたくさんのお客さんが訪れ、大盛況となりました。



●朝から大繁盛となりました!



●え?ひとつだけなの?と笑いながら
話す井川靖敏さん(左)



●愛車の給油をしに
来た小野寺勇太さん



聖徳太子奉賛会（川上和則会長）は、8月1日に豊川の高徳寺で聖徳太子祭を開催しました。

聖徳太子は、治水や築堤の技術を広めた歴史上の偉人であり、今なお全国各地で石碑が建立され、それに伴う催しが毎年開催されています。

常呂川の治水工事は、大正10年8月1日に新水路掘削、護岸工事の起工式が行われ、工事が安全に一日も早く完成することを願って工事関係者と下常呂原野に入植していた住民が、治水工事の祖と言われる聖徳太子の徳を偲び、聖徳太子碑を共

な碑を建立し現在に至っています。

聖徳太子祭は、聖徳太子を讃え、開拓当時の苦難に思いを馳せるとともに、堤防の守護と安全を祈願することを目的に毎年8月1日に高徳寺にて開催されています。

聖徳太子奉賛会は、令和4年に築堤工事着工から100周年を迎えるにあたり、記念事業を計画しております。実施にあたっては組合員皆様にご協力をお願いしますのでよろしくお願いします。

当日は奉賛会の役員や関係者一同が、今後の堤防の安全を願い参拝を行いました。

祭であります。



(上)高徳寺に移された聖徳太子碑

(下)先人たちへの感謝を込め参拝する出席者の皆さん



岐阜地区では事故死や病死した馬の靈を慰めるため、大正6年に馬頭観世音菩薩を岐阜県から迎え、現在の西5線6号（通称トワタリ）（門渡）の坂に安置し、毎年この時



(岐阜開基百年記念史より)



(上)トワタリ坂に安置されている馬頭観世音菩薩像

(下)参列する岐阜地区的皆さん

聖徳太子祭

馬頭観音祭

常呂町岐阜で7月23日、馬頭観音祭が開かれ、地域の関係者が集まりました。

開拓者にとって、馬は絶対必要な生き物であり、荒地の開墾など農作業だけではなく、人物の運搬など生活にも欠くことが出不来ない存在でした。

当時は住宅のなかに馬小屋をつくる家も多く、病気やケガをするとき、一家をあげて寝泊りするなどして馬の看病をすることもめずらしくなったそうです。

以前までは馬車や馬そりが落ち人馬共に亡くなることが多かったのが、菩薩を安置してからはケガ人がなく、近年馬がいなくなつてからも自家用車などの転落があつてもケガがないこともあります。

馬

そり

が

い

な

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

秋の農作業用品外販実施

JAところは、8月17日から19日の3日間で秋の農作業用品の外販を行いました。

農作業用品の外販は(株)新和の外販用マイクロバスで町内を回り、つなぎや長靴、手袋などの農作業用衣類を販売するものです。そこでは、実際に商品を見ながら説明を聞くことや、試着して購入することです。そこでは、実際に多くの組合員が利用しています。



●商品の試着をする岩松秀隆さん(右)

JAところは、8月17日から19日の3日間で秋の農作業用品の外販を行いました。

この外販は来年の春にも実施する予定なので、その際にはまたのご利用をお待ちしております。

ラジコンヘリ防除

JAところ(川上和則組合長)は8月4日、病害対策としてラジコンヘリを使用して南瓜の防除を行いました。

ラジコンヘリでの防除は、㈱コハタに委託し、申し込みのあった8件、計14圃場(約12ha)を防除し、高度な技術でムラなく行われました。



●(上)丁寧に防除されていきます
(下)ヘリの大きさがよくわかる1枚です

毎年9月6日は
**JAグループ北海道
「防災の日」**
9月1日から6日は
JAグループ北海道防災期間

点検日 年 月 日済



万が一の災害に備えて、設備の点検を行いましょう!!

JAところHPは随時更新中!!♪

HPでは広報誌では紹介しきれなかった記事などを随時更新しています♪
チェックの際は右記を参照ください!

JAところ魅力発信サイト |



JJAといふは7月21日、2階会議室で職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を行いました。

JJAでは、不祥事を未然に防ぐとともに、法令遵守や企業倫理を再確認し、内部統制の整備とコンプライアンス体制の確立ができるよう毎年研修会を実施しています。

当JJAでは、不祥事を未然に防ぐとともに、法令遵守や企業倫理を再確認し、内部統制の整備とコンプライアンス体制の確立ができるよう毎年研修会を実施しています。



●コンプライアンスについて説明をする門谷次長



●研修を受ける職員一同

JAといふは個人だけでなく、JA全体の信頼を損なってしまった。JAといふは個人だけでなく、JA全体の信頼を損なってしまった。



●講師を務めた塙田代表取締役



●研修を受ける各課の係長と主任

コンプライアンス研修会実施

～倫理法令遵守を再確認～

より良い職場環境を目指して

||職員研修(係長・主任)||

8月18日、JJAといふは係長・主任の職員を対象とした研修会をJJA会議室で行いました。

この研修会は令和3年度から取組んでいる第9次農協経営計画に基づく職員教育強化の一環として行われ、「自指す職員像・管理職像」の育成プランとして位置づけられています。

講師には株式会社サボルテの代表取締役塙田康祐氏を招き、「コミュニケーション力強化研修」と題し、時には講師からの問い合わせに応じながら学びました。

研修会対象の係長・主任の職員には積極的に組合員・職員と対話し人間関係を構築することによって、信頼される人財となることを期待しております。

JJA出資型法人設立



本年度の通常総会で承認されましたJJA出資型法人の設立登記が完了し、新会社「(株)ふあ一夢ところ」が誕生しました。

設立に至った背景には、今後本町における担い手の不在や労働力の不足による農業者の減少による遊休農地の発生や農業生産減退などが懸念される状況があります。

今回、新会社により酪農経営をスタートさせ「耕畜連携」を中心とした新たな担い手となります。将来的に規模や事業の拡大を進め、遊休農地の発生防止や農業生産維持に寄与し、地域農業とJAの体制を持続することができます。

来春の酪農経営開始に向け「(株)ふあ一夢ところ」の社名に夢と希望を込め準備を取り進めて行きます。

農林水産省からのお知らせ

みどりの食料システム戦略

みどりの食料システム戦略とは

我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化などの政策課題に直面しており、将来にわたって食料の安定供給を図るためにには、災害や温暖化に強く、生産者の減少やポストコロナも見据えた農林水産行政を推進していく必要があります。

このような中、健康な食生活や持続的な生産・消費の活発化やESG投資市場の拡大に加え、諸外国でも環境や健康に関する戦略を策定するなどの動きが見られます。今後、このようなSDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、我が国の食料・農林水産業においてもこれらに的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することが急務となっています。このため、農林水産省では、令和3年5月に食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

みどりの食料システム戦略（概要）
～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～
Measures for achievement of Decarbonization and Resilience with Innovation (MeaDRI)

令和3年5月
農林水産省

現状と今後の課題

- 生産者の減少・高齢化、地域コミュニティの衰退
- 温暖化、大規模自然災害
- コロナを契機としたサプライチェーン混乱、内食拡大
- SDGsや環境への対応強化
- 国際ルールメーキングへの参画

「Farm to Fork戦略」(20.5)
2030年までに化学農薬の使用及びリスクを50%減、有機農業を25%に拡大

「農業イノベーションアジェンダ」(20.2)
2050年までに農業生産量40%増加と環境フットプリント半減

農林水産業や地域の将来も見据えた持続可能な食料システムの構築が急務

持続可能な食料システムの構築に向けて、「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進

目指す姿と取組方向

2050年までに目指す姿

- > 農林水産業のCO2ゼロミッション化の実現
- > 低リスク農薬への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、オーガニック系を中心とする新規農薬等の開発により化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減
- > 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減
- > 耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大
- > 2030年までに食品製造業の労働生産性を最低3割向上
- > 2030年までに食品企業における持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現を目指す
- > エリートツリー等を林業用苗木の9割以上に拡大
- > ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率100%を実現

ゼロエミッション実現の発展

革新的技術・生産体制の達成やかな社会実装

革新されつつある技術の社会実証

取組・技術

2020年 2030年 2040年 2050年

戦略的な取組方向

2040年までに革新的な技術・生産体系を順次開発（技術開発目標）
2050年までに革新的な技術・生産体系の開発を踏まえ、今後、「政策手法のグリーン化」を推進し、その社会実装を実現。（社会実装目標）
※政策手法のグリーン化：2030年までに施策の支援対象を持続可能な食料・農林水産業を行う者に集中。
2040年までに技術開発の状況を踏まえつつ、補助事業についてカーボンニュートラルに対応することを目指す。
補助金拡充、環境負荷軽減メニューの充実とセットでロゴンプライム要件を充実。
※革新的な技術・生産体系の社会実証や、持続可能な取組を後押しする観点から、その時点において必要な規制を見直し。
地盤消型エネルギーシステムの構築に向けて必要な規制を見直し。

期待される効果

経済 持続的な産業基盤の構築	社会 国民の豊かな食生活 地域の雇用・所得増大	環境 将来にわたり安心して暮らせる地球環境の継承
・輸入から国内生産への転換（肥料・飼料・原料調達） ・国産品の評価向上による輸出拡大 ・新技術を活かした多様な働き方、生産者のすそ野の拡大	・生産者、消費者が連携した健康的な日本型食生活 ・地域資源を活かした地域経済循環 ・多様な人々が共生する地域社会	・環境と調和した食料・農林水産業 ・化石燃料からの切替によるカーボンニュートラルへの貢献 ・化学農薬・化学肥料の抑制によるコスト低減

アジアモンスター地域の持続的な食料システムのモデルとして打ち出し、国際ルールメーキングに参画（国連食料システムサミット（2021年9月）など）

詳しくは →

みどりの食料システム戦略

検索 

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

→ 北海道農政事務所の取組はこちらから

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kikaku/midori_hokkaidou.html



問合せ先

農林水産省北海道農政事務所企画調整室

011-330-8801

農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課

03-3502-8056

(問合せメールフォームURL)

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/4762.html>

農林水産省

第6回理事会報告 <7月16日開催>

- ◆JAグループ北海道不祥事ゼロの取組みについて
- ◆農協林の伐採（皆伐）について
- ◆令和3年産共計小麦の仮渡金について
- ◆令和3年産共計玉葱の仮渡金について
- ◆組合員の出資金譲渡について
- ◆令和3年度第1四半期監査について
- ◆株常呂町産業振興公社からの要請について
- ◆令和3年度実測面積について
- ◆令和3肥料年度早取り肥料取りまとめ実績について
- ◆令和3年度コムギなまぐさ黒穂病調査の結果について
- ◆令和3年度農業労災加入状況について
- ◆組合員の異動について
- ◆職員の退職について
- ◆令和3年度常呂町農協労働組合執行部体制について
- ◆農業委員会開催報告®

行事予定表

9月1日(水)～9月30日(木)

9月12日(日) 秋季祭典

9月23日(木) 秋分の日

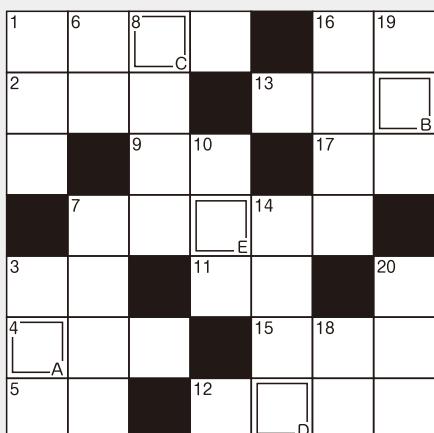
9月17日(金) 第8回定期理事会

9月26日(日) 農休日

9月20日(月) 敬老の日

Crossword Puzzle ~クロスワード・パズル~

二重マスの文字をA～Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？



ヨコのカギ

- 1 米の収穫作業の一つ。手で行うときは鎌を使います
- 2 家具などに使う藤（とう）のこと
- 3 アルファベットの9番目
- 4 フランス語で粟のこと
- 5 1位が金、2位が銀なら3位は
- 7 阿倍仲麻呂や吉備真備などがこの役を果たしました
- 9 鉄砲に込める物
- 11 チョキがはさみならグーは
- 12 ボール紙のことをこう呼ぶことも
- 13 釣りに使う透明な糸
- 15 宗谷、室戸、足摺といえば
- 16 何もすることがない状態です
- 17 喜・怒・哀・○○

タテのカギ

- 1 中東の国の一。首都はバクダッド
- 3 台風に備えて閉めておこうかな
- 6 すしのしゃりにのせます
- 7 9月の第3月曜日は○○○○の日。国民の日です
- 8 難しくありません
- 10 町火消しが火事場で振った物
- 14 草木も眠る○○○○時
- 16 夕方「カナカナカナ…」と鳴くセミ
- 18 ハウスみかんの生産量が日本一の県
- 19 鼻からあごまでを覆うように着けます
- 20 十五夜に楽しむもの

先月の当選者・解答

8月号のまちがい探しの答えは、「1、3、5、10、12」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

林 愛梨さん（岐阜）
中島 叶人さん（共立）
佐藤 虹さん（富丘）
※（ ）内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、スイーツせぞんのお菓子をプレゼントします。

読者の声

★まちがえさがしかんだんでたのしかったです。

（共立地区・小林 桜子さん）

★身近な話題や人が載っているととても楽しく読んでいます。

（豊川地区・田渕 優さん）

農業を担う青年たち

※今年度の新規就農者の方をご紹介します。

岐阜地区

辻

りょう や
諒弥さん(22歳)

(父:正樹さん)

○最終学歴

東京農業大学

○就農にあたっての抱負

スマート農業を意識し作業効率を上げより良い作物を生産していきたい。

○趣味

スノーボード



～暮らしにお花を取り入れて、明るく豊かな生活を送りませんか?～



富丘地区 石澤ヨシコさん

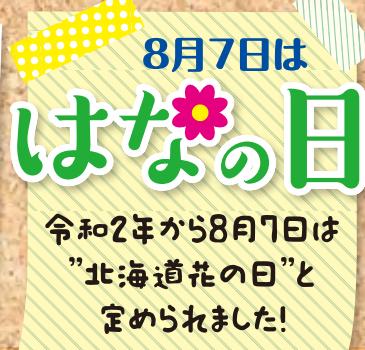


豊川地区 佐藤僚典さん

福山地区 植松忠男さん



福山地区 植松正行さん



8月7日は
はなの日

令和2年から8月7日は
“北海道花の日”と
定められました!



JJA事務所前花壇
JAどこ女性部



編集後記

- 夏はあっという間におわってしまいますね。今年の夏は猛暑日が続いたり雨がまったく降らなかつたりと常呂らしからぬ厳しい夏でした。
 - ラジオCMの農作業安全啓発メッセージはお聞き頂けましたか?農作業も後半戦です。家族で声掛けや安全確認をして農作業事故を防ぎましょう!
- 《営農企画課:広報担当》

組織・地域を担う若者たち

小麦の収穫作業を行う石澤健さん

今月の表紙は、富丘地区の石澤健さん(23)です。小麦の収穫作業を行っているところを撮影させていただきました。

撮影後に今後の抱負について聞くと、「知識も技術もまだまだ半人前なので、早く一人になれるように親や先輩方などから聞いたことを吸収して自分のものにしていきたい」と、にこやかに話してくださいました。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

